

3 特殊分類別（財別）鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 最終需要財

平成 14 年の県内最終需要財の生産指数は 98.1 で、対前年比 3.3% 低下しました。（表 12）

また、在庫指数は 84.2 で、対前年比 14.4% 低下しました。（表 14）

1-1 投資財

平成 14 年の県内投資財の生産指数は 92.0 で対前年比 4.9% 低下しました。（表 12）

また、在庫指数は 79.1 で対前年比 14.5% 低下しました。（表 14）

1-1-1 資本財

平成 14 年の県内資本財の生産指数は 100.1 で、対前年比 0.9% 上昇しました。（表 12）

四半期別にみますと、1 期は 97.3（対前期比 1.2% 増）、2 期は 93.7（同 3.7% 減）、3 期は 105.9（同 13.0% 増）、4 期は 104.6（同 1.2% 減）となります。（表 16）

また、在庫指数の年平均は 73.8 で、対前年比 19.3% 低下しました。（表 14）

四半期別にみますと、1 期は 81.8（対前期比 8.5% 減）、2 期は 80.0（同 2.2% 減）、3 期は 67.5（同 15.6% 減）、4 期は 64.2（同 4.9% 減）となります。（表 18）

1-1-2 建設財

平成 14 年の県内建設財の生産指数は 83.0 で、対前年比 11.5% 低下しました。（表 12）

四半期別にみますと、1 期は 78.9（対前期比 7.9% 減）、2 期は 83.1（同 5.3% 増）、3 期は 85.6（同 3.0% 増）、4 期は 85.7（同 0.1% 増）となります。（表 16）

また、在庫指数の年平均は 84.5 で、対前年比 9.6% 低下しました。（表 14）

四半期別にみますと、1 期は 89.4（対前期比 1.0% 増）、2 期は 86.7（同 3.0% 減）、3 期は 83.8（同 3.3% 減）、4 期は 78.3（同 6.6% 減）となります。（表 18）

1-2 消費財

平成 14 年の県内消費財の生産指数は 105.5 で、対前年比 1.5% 低下しました。（表 12）

また、在庫指数は 90.1 で、対前年比 14.4% 低下しました。（表 14）

1-2-1 耐久消費財

平成 14 年の県内耐久消費財の生産指数は 112.8 で、対前年比 0.4% 上昇しました。（表 12）

四半期別にみますと、1 期は 115.9（対前期比 7.3% 増）、2 期は 115.6（同 0.3% 減）、3 期は 111.4（同 3.6% 減）、4 期は 110.0（同 1.3% 減）となります。（表 16）

また、在庫指数の年平均は 89.8 で、対前年比 18.1% 低下しました。（表 14）

四半期別にみますと、1 期は 92.6（対前期比 2.8% 増）、2 期は 87.0（同 6.0% 減）、3 期は 81.1（同 6.8% 減）、4 期は 94.5（同 16.5% 増）となります。（表 18）

1-2-2 非耐久消費財

平成 14 年の県内非耐久消費財の生産指数は 94.3 で、対前年比 4.8%低下しました。(表 12)

四半期別にみますと、1 期は 96.5 (対前期比 0.8%減)、2 期は 94.8 (同 1.8%減)、3 期は 92.9 (同 2.0%減)、4 期は 93.1 (同 0.2%増) となります。(表 16)

また、在庫指数の年平均は 90.6 で、対前年比 3.4%低下しました。(表 14)

四半期別にみますと、1 期は 94.4 (対前期比 4.7%増)、2 期は 96.6 (同 2.3%増)、3 期は 88.6 (同 8.3%減)、4 期は 83.6 (同 5.6%減) となります。(表 18)

2 生産財

平成 14 年の県内生産財の生産指数は 101.1 で、対前年比 0.6%上昇しました。(表 12)

また、在庫指数は 209.6 で、対前年比 69.9%上昇しました。(表 14)

2-1 鉱工業用生産財

平成 14 年の県内鉱工業用生産財の生産指数は 101.4 で、対前年比 0.8%上昇しました。(表 12)

四半期別にみますと、1 期は 90.7 (対前期比 4.4%減)、2 期は 100.4 (同 10.7%増)、3 期は 108.9 (同 8.4%増)、4 期は 105.1 (同 3.5%減) となります。(表 16)

また、在庫指数の年平均は 213.6 で、対前年比 72.0%上昇しました。(表 14)

四半期別にみますと、1 期は 217.2 (対前期比 52.2%増)、2 期は 186.4 (同 14.2%減)、3 期は 231.1 (同 24.0%増)、4 期は 210.5 (同 8.9%減) となります。(表 18)

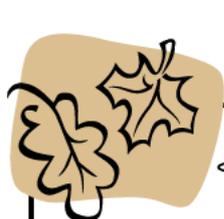
2-2 その他用生産財

平成 14 年の県内その他用生産財の生産指数は 88.8 で、対前年比 5.9%低下しました。(表 12)

四半期別にみますと、1 期は 90.2 (対前期比 2.1%減)、2 期は 89.6 (同 0.7%減)、3 期は 89.4 (同 0.2%減)、4 期は 86.4 (同 3.4%減) となります。(表 16)

また、在庫指数の年平均は 97.9 で、対前年比 3.4%低下しました。(表 14)

四半期別にみますと、1 期は 104.9 (対前期比 4.0%増)、2 期は 101.7 (同 3.1%減)、3 期は 93.6 (同 8.0%減)、4 期は 91.8 (同 1.9%減) となります。(表 18)



「季節調整」 とは？

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の 2 種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、年末年始のある 12 月、1 月、ゴールデンウィークのある 4、5 月、お盆休みのある 8 月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、本当にそれを生産水準の低下と考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により 1 年を周期として変動するので、前月や前四半期との比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。これを「季節調整」といいます。

図6 特殊分類別生産指数の推移
(平成12年=100, 季節調整済)

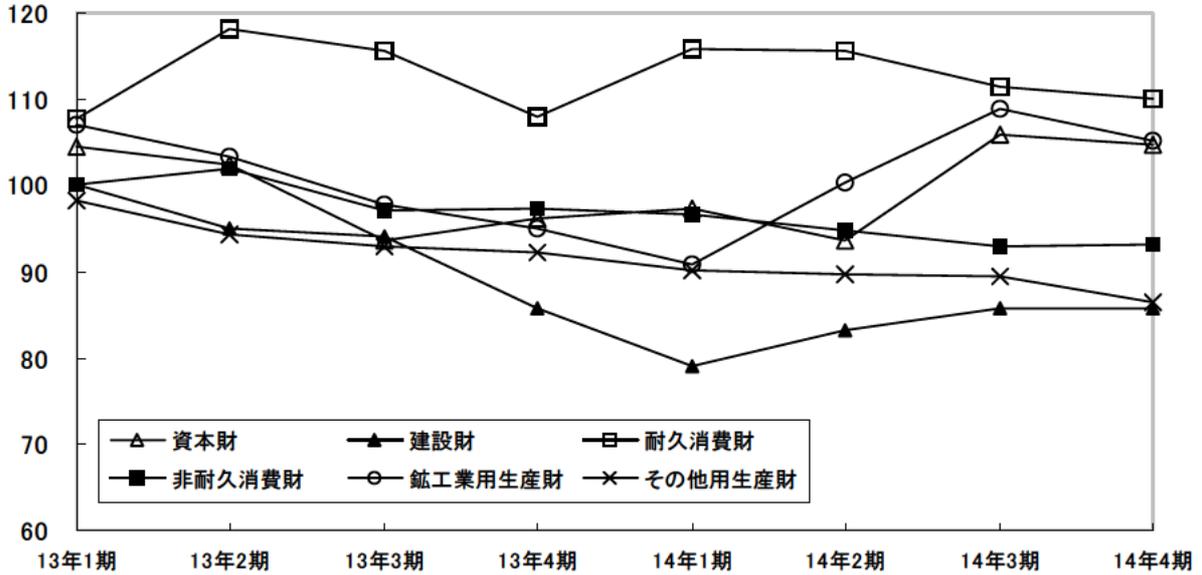


図7 特殊分類別生産者製品在庫指数の推移
(平成12年=100, 季節調整済)

